

講演会のご案内

演題： 間質の間葉系前駆細胞が司る骨格筋組織の
恒常性維持機構

講師： 東京都健康長寿医療センター研究所
老年病態研究チーム 運動器医学
専門副部長 上住 聡 先生

日時： 平成 29 年 11 月 22 日（水） 17:00～18:30

場所： 藤井節郎記念医科学センター 2 階多目的室(1)(2)

■ご講演要旨■

骨格筋は優れた再生能を有した組織で、その再生は筋の幹細胞として機能する筋衛星細胞が担っている。一方、いくつかの病態下では、筋の再生に不全をきたし、筋組織に脂肪化や線維化が生じてしまう場合がある。筋の脂肪化や線維化がどのようにして起こるのか不明であったが、私達は筋間質に筋衛星細胞とは異なる間葉系前駆細胞を発見し、この細胞が脂肪化や線維化の起源となっていることを明らかにしてきた。脂肪化や線維化の起源となるため間葉系前駆細胞は理想的な治療標的となるが、病的な役割を持つだけでなく、再生時には筋衛星細胞による筋再生を支持することも分かってきた。よって、間葉系前駆細胞の病的な側面と再生を支持する側面の二面性を理解し制御することが重要と考えられる。本講演では、私達が行っている間葉系前駆細胞の制御機構の解析について紹介する。

間葉系前駆細胞は健康な定常状態の筋にも存在する。定常状態の筋における間葉系前駆細胞の役割を調べる目的で、間葉系前駆細胞を欠損するマウスを作製したところ、顕著な筋力・筋量の低下を認め、間葉系前駆細胞が定常状態での筋の維持に必須の役割を果たしていることが明らかとなった。この特性は筋の老化を考える上で極めて重要となるが、定常状態の筋の維持における間葉系前駆細胞の機能解析についてもあわせて紹介したい。

多くの先生方、大学院生、学部学生、興味をお持ちのすべての方々のご来聴を歓迎致します。

※本講演会は、大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびに、クラスターコアセミナー（骨と Ca クラスタ）を兼ねています。

連絡先：生体栄養学分野 二川 健（内線 9248）